



リハビリテーション科の紹介

リハビリテーション科 **吉田 園代**

リハビリテーション科では、入院された患者の急性期リハビリテーションを行っており、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の三部門で専門的に治療しています。

習・体位排痰、離床のための基本的動作練習や耐久力向上運動を行います。また、胸部および腹部外科の周術期の呼吸リハビリテーションを行い、術後合併症の予防を図り早期離床を目指しています。

疾患別リハビリテーションの紹介

脳血管疾患等リハビリテーション

脳卒中や脳腫瘍、頭部外傷、神経筋疾患などの患者を対象にしています。麻痺や言語障害、嚥下障害、高次脳機能障害に対して、三部門の療法士が協働して日常生活活動ができるように個々の患者に合わせたリハビリテーションをしています。

心大血管疾患リハビリテーション

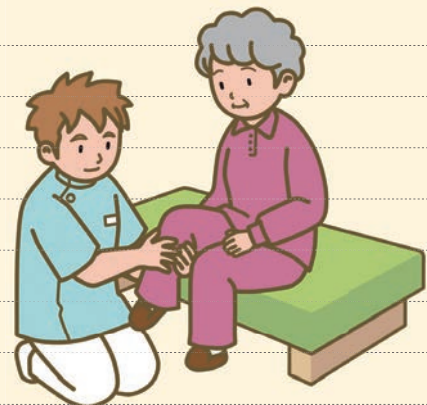
専従の理学療法士と専任の看護師が循環器内科医の指示のもと、運動療法を中心に、栄養や薬物管理を含めた生活指導を実施して早期社会復帰、再発の予防に取り組んでいます。

運動器リハビリテーション

外傷による骨折や人工関節置換術などの術後を対象にしています。二次性骨折予防への取り組みにも参加しています。

呼吸器リハビリテーション

慢性閉塞性肺疾患や肺炎などの呼吸器内科疾患に対して、状態の安定を図るための呼吸練



研修・講演・学習会のご案内



1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

日時：9月12日（火） 19：00～20：00

場所：当院3階 講堂

1) 症例検討

『副腎静脈サンプリングで局在診断を行った原発性アルドステロン症の1例』

腎臓内科 曾根 涉

2) ミニレクチャー

『たかが心房細動、されど心房細動』

循環器内科 桶家 一恭

心房細動がcommon diseaseといわれてから
久しい。心房細動は加齢に伴い罹患率が増加
し、超高齢化社会を迎えたわが国では、さらに患
者数の増加が予想される。心房細動は、上室性
の不整脈であり、多くの場合は発症してすぐに問
題を生じるわけではないが（たかが）、気づかず
にいると様々な問題を起こし、QOLやADLを低下
させたり、致命的となることさえある（されど）。
心房細動の診断自体は、それほど難しくはない

が、患者の自覚症状の強さ、年齢、基礎疾患、併
存疾患、心機能などケースバイケースであり、何
に注意して、どのように管理すべきかは、単純なこ
とではない。

今回は、不整脈専門医ではない循環器医が、
心房細動を見たときに、何に注目し、どのように
管理すべきかを、症例を交えながら、なるべくわか
りやすく解説することを試みましたので御聴講の
ほどよろしく願いいたします。

予告

日時：10月10日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 1例（担当）小児科
②ミニレクチャー 1題（担当）脳神経外科

2. 腎臓病教室

日時：10月3日（火） 13：30～15：45

場所：当院3階 301会議室

次回は、令和6年2月22日の開催を予定しております。

腎臓病教室に関するお問い合わせは、内科外来までご連絡ください。



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

腎不全看護エキスパートナーズの活動ととやまCKD地域連携パスについて

腎不全看護エキスパートナーズ 透析看護認定看護師 松木 理浩、西村 佑佳、清水 那奈

私たち腎不全看護エキスパートナーズは、透析看護認定看護師1名を含めた3名で活動しています。慢性腎臓病（以下CKD）の進行を遅らせようと2010年より「とやまCKD地域連携パス」の立ち上げに携わり、現在140名程の患者さんに使用し、かかりつけ医と当院の腎臓専門医が病診連携を行っています。また看護外来では、患者さんの価値観や気持ち、生活背景、生活習慣など丁寧に聞き取り、栄養指導や療養相談で食事や生活の見直し

を行っています。

この地域連携パスを使用することにより尿蛋白の是正や検査データの悪化が低減され、患者さんや御家族のQOL維持に役立て、共に取り組んでいきたいと思えます。また、かかりつけ医の先生やスタッフの皆様と「とやまCKD地域連携パス」を運用しながら慢性腎臓病の進行抑制に取り組んでいきたいと思えますので、今後ご支援の程よろしくお願いたします。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

9月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	寺崎敏	5日、12日~29日	麻酔科	永川	4日
	大田聡	29日		本田	1日
	野村智	20日		篠田	28日
	水野	22日	精神科	長谷川雄	4日、6日、8日
	田森	11日、12日	形成外科	島	11日、12日、13日、14日、15日
	浅野	21日	皮膚科	野村佳	19日
	田中智	4日		大村	8日
外科	藤村	19日	脳神経外科	山野	1日、4日
	宮下知	26日	呼吸器・血管外科	酒井	26日
	佐々木	1日、27日、29日	小児科	和田優	25日、26日
	竹下	14日、15日		中里	11日、13日、14日
	中村	13日		西橋	1日、5日
	谷口	19日	眼科	山田芳	11日
児玉	19日	村上		19日、29日	
泌尿器科	小泉	5日、6日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	児島	4日、14日
整形外科・関節再建外科	齋藤	12日、13日	歯科口腔外科	寺島	20日、21日
産婦人科	西郡	19日、20日		朽名	22日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

まだまだ厳しい暑さが続いています。皆様のお宅のペットたちはどう過ごしていますか。我が家の昆虫たちは、例年ですと、カブトムシは夜中に虫かごを脱出して、廊下や靴の中に隠れて驚かせてくれたのに今年はそんな素振りも見せず、数日で寿命がきてしまいました。そのあとも、新しいカブトムシを迎えましたが短い命でした。いつも通りお世話しているはずなのに何がダメだったのかな？と振り返っても、これという原因も見当たりません。きっと、この酷暑の影響を受けたのではではないかと思えます。

さいわい、クワガタは元気です。近づく秋の訪れを心待ちにしながら、もう少し元気でいてねとクワガタのお世話をす
入院支援センター 近江 恵

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp